CAT EYE

MSCダウンロードソフトウェア
取扱説明書

Macintosh
対応



for MSC
HEARTRATE COMPUTER
Download Software
e-Train Data View™

e-Train Data ver.1 for Macintosh

英語版1.0j
for Macintosh

はじめに

このMSC e-Train Data View™ Mac版は、MSCハートレートコンピュータで計測し蓄積したメモリ計測データ・心拍目標ゾーンデータ・ラップデータをMacintoshへ読込み、グラフと数値情報による画面を表示させるものです。またダウンロードしたこのデータは他の表計算ソフトを使って自由に加工することも可能です。

本書は、MSC e-Train Data View™の操作方法とご使用上の注意点などについて説明しています。ご使用前に本書をお読みいただき、内容を十分に理解したうえで、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。なお、お読みになった後も大切に保管し、すぐに参照できるようにお願いします。

お願い

- 本書内の警告マークに記載されている内容は、必ずお守りください。
- 本書の内容の全部、または一部を無断で複写、転載することは禁止します。
- 本書に記載してありますイラストは、製品の改良などにより、製品と合致しない箇所の生じる場合があります。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容には、万全を期していますが、万一ご不明な点や誤り、お気づきの点がありましたら、弊社またはご購入元までご連絡くださいますようお願いします。

Macintoshは、米国Apple社の登録商標です。

MSC-DLMacJ-000731 1

本取扱説明書の読み方

ソフトウェアの使い方、および使用時の注意点について詳しく説明しています。

本文中のマークの意味

アラートシンボルマーク

⚠注意	このマークのついた文章は、取り扱い上大変重要です。必ず守ってください。
参考	知っておくと便利な機能または補足説明について説明しています。

本書について

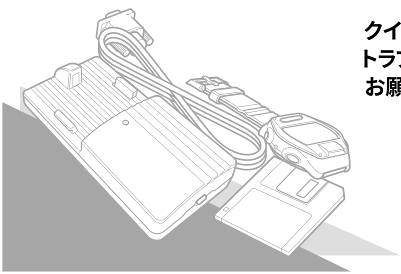
※ 本書はMacintoshの基本操作および用語等は、すでに習得されていることを前提として書かれています。はじめてMacintoshをお使いになる方は、手持ちのMacintosh操作関連マニュアルを参考に、その内容を十分理解した上で本ソフトウェアおよび本書をお使いください。

※ 本書では以後『MSC e-Train Data View™』をe-Train Data、『MSCシリーズ ハートレートコンピュータ』をMSCユニットと表記します。

※『[File]-[Open]を選択します』とは、メニューバーの[File]をクリックして、表示されたプルダウンメニューから[Open]をクリックすることです。このように、[　]で囲まれたコマンド名は、メニューまたはダイアログボックスの項目やボタンを表します。

※ マウスの操作については、次のように表記します。
クリック ----------- マウスのボタンを押して、すぐに離すことです。
ダブルクリック -- マウスのボタンをすばやく2回続けてクリックすることです。
ドラッグ ----------- マウスのボタンを押したまま、マウスを動かすことです。

目次



e-Train Data View™の概要

e-Train Dataとは

e-Train Dataは、MSCユニットで計測したデータをMacへダウンロードして活用できるようにするソフトウェアです。e-Train DataはMSCユニットに蓄えたデータをMac上に取り込むと同時に、直接グラフ化して数値データを表示します。比較、検討のためのe-Train Dataが持つ各種の機能はきっとお役に立てると確信します。

e-Train Dataの主な機能・・・・

MSCユニットのデータ取り込み

MSCユニットに蓄積したメモリ計測、ラップ、心拍目標ゾーンの各データをMac側へ取り込みます。ダウンロードしたデータは管理しやすい形で保存できます。

取り込みデータのグラフ表示

取り込んだデータは画面上でグラフ化して表示します。また印刷も容易に行えます。

データの分析

情報エリアの最大・最小・平均値は全区間あるいは指定区間で表示され、データの分析に役立ちます。

画面

MSCユニットから取り込んだ各データはe-Train Dataのグラフエリアで直接グラフ化されます。
画面は次の機能を備えます。

分析ツール

区間指定・拡大・スムージング・自由に設定できる心拍ゾーンなどデータ分析に役立つツールを備えています。

異種データの同時表示

メモリ計測データのグラフ上へラップデータを読込み、重ねて表示できます。

複数ファイルの同時表示

複数のファイルを並べて表示することができます。いくつかのデータを見比べ、トレーニングの成果を比較できます。

走行時間と走行距離の切替え

グラフの横軸は走行時間か走行距離かを選べます。切替えはツールバーでワンタッチで行えます。また目盛り数値の変更や表示・非表示の切替えも自在です。

e-Train Dataのデータ

MSCユニットで計測・蓄積したデータをe-Train DataでMacへ取り込むと、CSV形式（カンマ区切りテキスト）のファイルとなります。このファイルは一般的な表計算ソフト等で自在に加工・編集できるため、e-Train Dataだけでなくいろいろな形で活用することが可能です。

⚠注意 e-Train Data のファイルを表計算ソフトで開いて保存すると、以後e‐Train Data で開けなくなる場合があります。表計算ソフトで保存するときは「保存」ではなく「別名で保存」にするか、あらかじめバックアップをとっておいてください。

e-Train Data View™をお使いになる前に

e-Train Dataをお使いになる前に、次の項目の確認を必ず行ってください。

e-Train Dataに必要な環境

e-Train Dataを使うために、次の環境が必要です。

コンピュータ本体 ---------- Apple Power Macintoshコンピュータ
(シリアルポートまたはUSBポートが使用できること)
インターフェイスユニットの接続
コネクターはD-sub 9ピンのコネクターです。お手持ちのMacintoshに接続する場合、別途アダプターが必要です。(28ページ参照)

アプリケーションメモリ ---- 2.1MB以上

OS ---------------------------- Mac OS 8.1以降

e-Train Data View™の基本操作

e-Train Dataでのデータの見方

e- Train Data によるデータ分析はメモリ計測データを基本画面として行います。区間指定・拡大・スムージング・心拍ゾーン等の機能を使ってトレーニングの結果を分析します。ラップデータも同時にダウンロードし、メモリ計測グラフに読込んでみましょう。データを重ねて表示させることで、より踏み込んだ分析や検討が行えます。

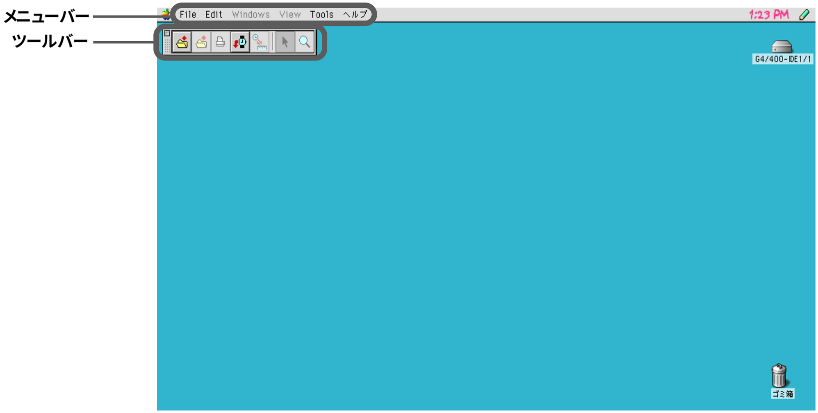
ラップデータは単独でもグラフ表示ができます。

e- Train Data の起動、終了のしかたと基本操作を「サンプルファイル」を使って説明します。

e-Train Dataの起動

e-Train Data View フォルダ内の「e-Train Data View」をダブルクリックします。

正常に起動するとメニューバー、ツールバーが表示され、次のような状態になります。



ファイルを開く・ファイルを閉じる



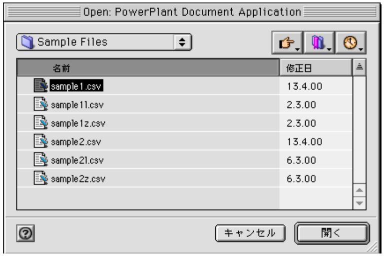
正常に起動したら、メモリ計測データの「サンプルファイル」を開いてみましょう。

1. ツールバーの「開く」ボタンをクリックします。

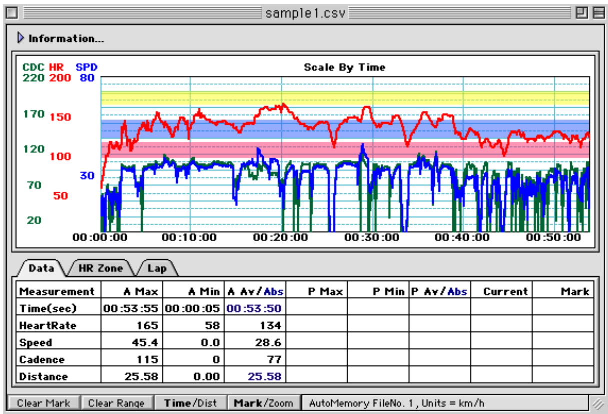
ダイアログボックスが表示されます。

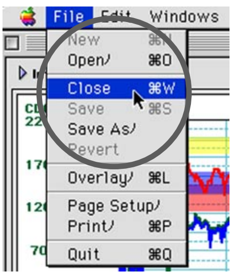
メニューバーの[File]-[Open]を選択しても同様に行えます。

2. ダイアログボックス内の「sample1.csv」ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



画面にサンプルファイルのデータ(メモリ計測)が表示されます。





3. メニューバーの[File]-[Close]を選択またはクローズボックスをクリックします。

サンプルファイルが閉じます。

次の説明に移るため再び[開く]ボタンをクリックし、「sample1.csv」ファイルを開いてください。

画面の構成

メモリ計測データ画面の構成

画面は、ツールバー、各データを数値で表示する情報エリア、心拍数・速度・ケイデンスのデータをグラフ表示するグラフエリアで構成され、データの把握や比較が簡単に行えます。拡大・区間指定といったより詳細なデータを見るための機能も備えています。

メニューバー

ツールバー

情報エリア1

名前、日付、コメントを入力できます。（アルファベット・数字のみ）

グラフエリア

計測データ

走行速度SPD（青ライン）

ケイデンスCDC（緑ライン）

心拍数HR（赤ライン）

上記の色はデフォルトの場合

心拍ゾーンは色の塗られた部分です。

情報エリア2

グラフ全域での最高値・最低値・平均値／絶対値、カーソルの位置、マークラインの位置を数値で表します。

クイックボタン

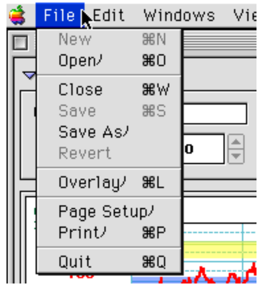


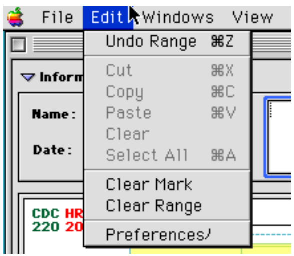
・メニューバー

［e-Train Data］のメニュー名を表示しています。メモリ計測データ、ラップデータ、心拍目標ゾーンデータの全ての画面で共通します。メニュー名をクリックすると、そのメニューに含まれるコマンド（機能）の一覧がプルダウン表示されます。データにより選択できない項目はグレー表示となります。

File（ファイル）メニュー

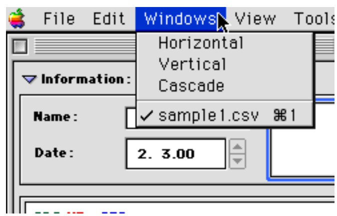
New ------------ 新規
Open ----------- 開く
Close ----------- 閉じる
Save ------------ 保存
Save As ------- 別の名前で保存
Revert ---------- 復帰
Overlay -------- 読込み
ラップや心拍目標ゾーンを読込みます
Page Setup --- 用紙設定
Print ------------ 印刷
Quit ------------- 終了





Edit（編集）メニュー
一般の編集メニューに加え次のものがあります
Clear Mark ------ マークライン消去
Cear Range ----- 選択範囲消去
Preference ------ 設定
画面の色などを自由に設定できます

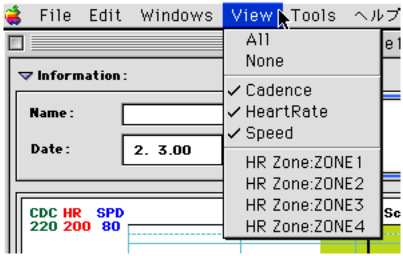
Windows（ウインドウ）メニュー
複数のファイルを表示したときの並べ方を指定します
Horizontal -- 横長に表示して並べる
Vertical ------ 縦長に表示して並べる
Cascade ---- 重ねて表示する



View(表示)メニュー

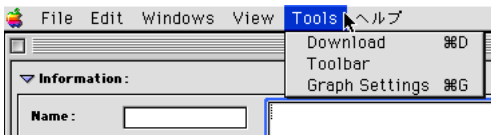
グラフエリアに表示する項目を選択します

All ------------------------ 全てを表示
None -------------------- 全てを非表示
Cadence --------------- ケイデンスを表示します
HeartRate ------------- 心拍数を表示します
Speed ------------------ 走行速度を表示します
HR Zone: ZONE1 --- 心拍ゾーン1を表示します
HR Zone: ZONE2 --- 心拍ゾーン2を表示します
HR Zone: ZONE3 --- 心拍ゾーン3を表示します
HR Zone: ZONE4 --- 心拍ゾーン4を表示します



Tools(ツール)メニュー

Download ---------	**ダウンロード**	**ダウンロードダイアログが表示されMSCユニットからデータが転送できる状態になります**
Toolbar ------------	**ツールバー**	**ツールバーが非表示のとき、ツールバーを表示します**
Graph Settings --	**グラフ設定**	**グラフの横軸目盛り・縦軸目盛り・スムージングの設定が行えます**



• **ツールバー**

ボタンをクリックするだけで次の動作が実行されます。

開く------------------- e-Train Dataのファイルを開きます。

保存 ----------------- e-Train Dataのファイルを上書き保存します。

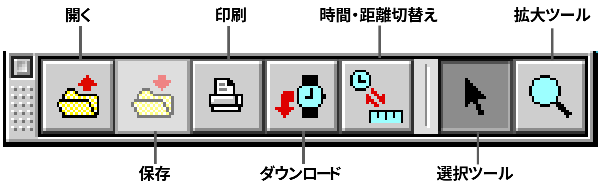
印刷 ----------------- 画面をプリントするためのプリントダイアログを開きます。

ダウンロード -------- MSCユニットからデータをダウンロードします。(ダウンロードダイアログを開きます)

時間・距離切替え - 横軸の目盛りを走行時間にするか走行距離にするかを切替えます。

選択ツール --------- グラフ上でクリックするとマークラインが引かれ、ドラッグすると範囲が指定できます。

拡大ツール --------- グラフ上でクリックすると1段階拡大します。ドラッグするとその範囲を左右いっぱいに拡大します。optionキーを押しながらクリックすると縮小します。

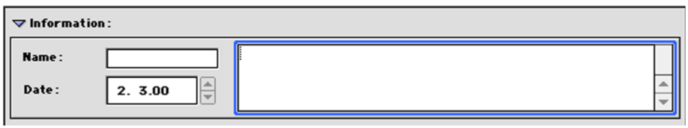




• **情報エリア1 (Information)**

▶マークをクリックし、情報エリア1のウインドウを開きます。

ウインドウを閉じるときは、再度▼マークをクリックします。



Name ------- 名前を入力できます。(アルファベット・数字のみ)

Date --------- スピンボタンで日付を入力できます。(キー入力も可能です)

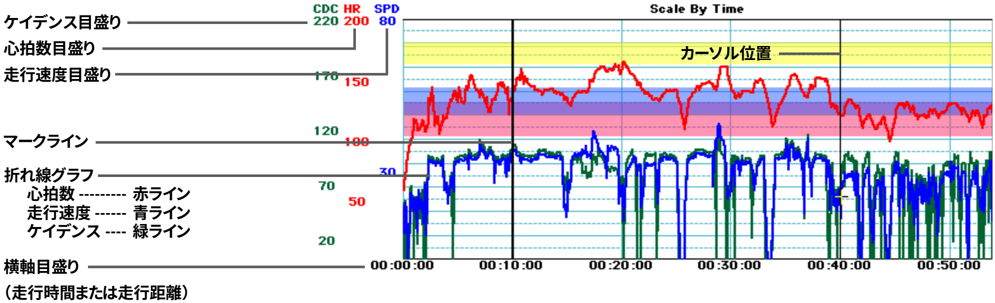
コメント欄 --- コメントを入力できます。(アルファベット・数字のみ)

・グラフエリア

心拍数、走行速度、ケイデンスのデータを折れ線グラフとして表示します。
デフォルトでは心拍数は赤ラインで、走行速度は青ラインで、ケイデンスは緑のラインで表示します。

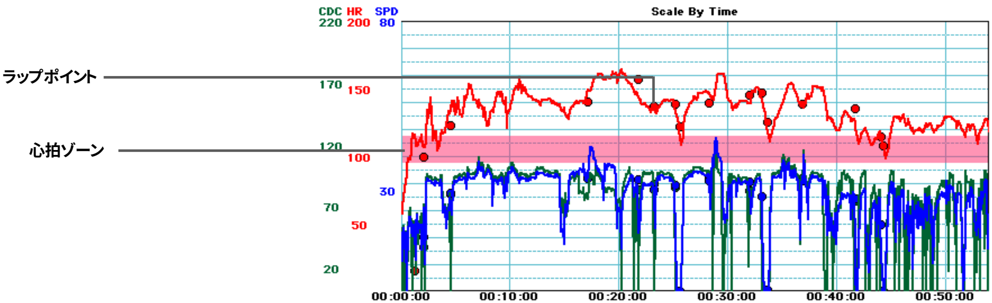
⚠注意 お使いのMSCユニットにケイデンス機能が無い場合は、ケイデンスは表示されません。

横軸は走行時間ですが、ツールバーの「時間・距離切替え」ボタンで走行距離に替えられます。
（11ページ参照）
横軸が走行時間のときはグラフ上部に「Scale By Time」と表示され、横軸が走行距離のときは「Scale By Distance」と表示されます。
区間指定の範囲やマークラインもこのグラフ上に表示されます。



横軸（走行時間／走行距離）

ラップデータをこのグラフエリアに読込むことができます。読込みを行ったときラップポイントは○で表示されます。（22ページ参照）
心拍ゾーンをこのグラフエリアに表示でき、ゾーン範囲が色で塗られます。心拍ゾーン1～4は個別に表示・非表示を選択できます。（10ページ参照）



・情報エリア2

Dataタブ --------- メモリ計測データの数値を表示します。

・A Max、A Min、A Av/Abs：
全区間の最高値、最低値、平均値／絶対値を表示します。絶対値は青色で表示します。

・P Max、P Min、P Av/Abs：
選択範囲の最高値、最低値、平均値／絶対値を表示します。絶対値は青色で表示します。

・Current：
グラフ上のカーソル位置の数値を表示します。

・Mark：
マークライン上の数値を表示します。

Time (sec)（時間（秒））
Heart Rate（心拍数）
Speed（走行速度）
Cadence（ケイデンス）
Distance（走行距離）

Data / HR Zone / Lap

Measurement	A Max	A Min	A Av/Abs	P Max	P Min	P Av/Abs	Current	Mark
Time(sec)	00:53:55	00:00:05	00:53:50	00:32:05	00:16:00	00:16:05	00:37:55	00:45:25
HeartRate	165	58	134	165	109	145	152	129
Speed	45.4	0.0	28.6	45.4	0.0	31.7	34.0	26.7
Cadence	115	0	77	111	0	82	97	83
Distance	25.58	0.00	25.58	16.48	8.00	8.48	19.31	22.16

A Max（全区間の最大値）
A Min（全区間の最小値）
A Av/Abs
（全区間の平均値／絶対値）
P Max（選択区間の最大値）
P Min（選択区間の最小値）
P Av/Abs
（選択区間の平均値／絶対値）
Current（カーソル位置の値）
Mark（マーク位置の値）

HR Zoneタブ --- 各心拍ゾーンを数値で表示します。

Lower（心拍下限）
Upper（心拍上限）
Time (sec)（ゾーン滞留時間（秒））
Time %（ゾーン滞留比率%）

Data / HR Zone / Lap

	Zone 1	Zone 2	Zone 3	Zone 4
Lower	95	120	176	162
Upper	115	143	176	180
Time(sec)	00:05:10	00:30:35	00:00:00	00:00:25
Time %	9.5	56.7	0.0	0.7

Adjust your target zones by selecting a cell and adjusting the arrow control that appears. When you reach the value you want, deselect the cell (or edit another cell) to make your changes take effect.

心拍ゾーンは自由に設定することができます。

1. HR Zoneタブを選択します。
2. 変更したいゾーンの心拍上限または心拍下限をクリックします。
   タブキーを使うと順次移動できます。

Data / HR Zone / Lap

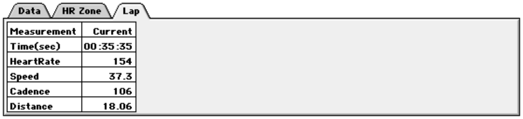
	Zone 1	Zone 2	Zone 3	Zone 4
Lower	95	120	176	162
Upper	115	143	176	180
Time(sec)	00:05:10	00:30:35	00:00:00	00:00:25
Time %	9.5	56.7	0.0	0.7

3. 希望の数値になるまで、スピンボタンをクリックします。

参考 心拍ゾーンは重なりあっても問題ありません。

⚠注意 数値を直接入力することはできません。

Lapタブ ------ ラップデータを数値で表示します。
カーソル位置に最も近いラップポイントの走行時間、心拍数、速度、ケイデンス、走行距離の数値を表示します。



Measurement	Current
Time(sec)	00:35:35
HeartRate	154
Speed	37.3
Cadence	106
Distance	18.06

・クイックボタン

ボタンをクリックするだけで次の動作が実行できます。

Clear Mark ----- マークラインを消去します。
メニューバーの[Edit]-[Clear Mark]と同様です。

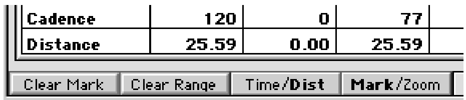
Clear Range --- 選択範囲を消去します。
メニューバーの[Edit]-[Clear Range]と同様です。

Time/Dist ------- 横軸の目盛りを走行時間にするか走行距離にするかを切替えます。
ツールバーの「時間・距離切替え」ボタンと同様です。

参考 ボタン中の文字は、グラフエリアで選択されている側を太字で表記します。

Mark/Zoom ---- 選択ツールと拡大ツールを切替えます。

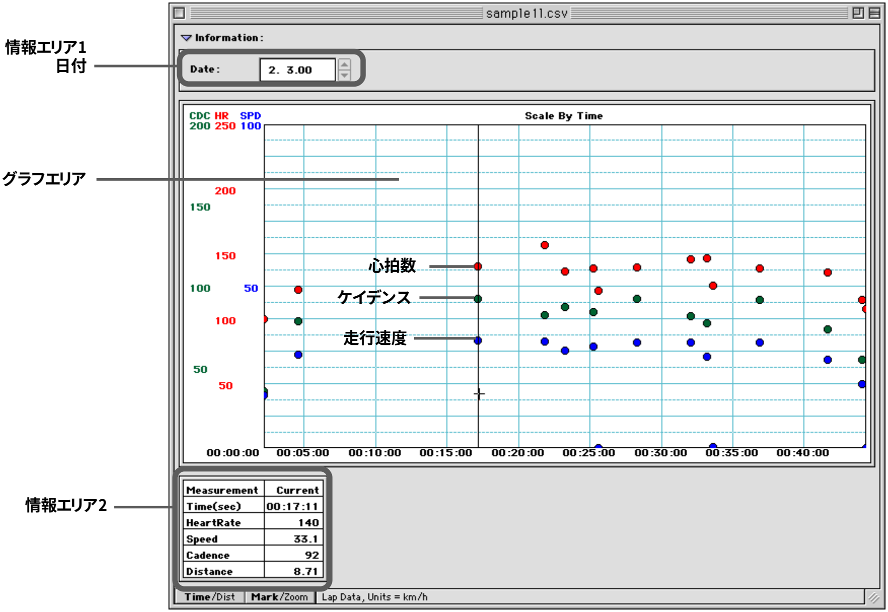
参考 ボタン中の文字は、選択されている側を太字で表記します。



Cadence	120	0	77
Distance	25.59	0.00	25.59

ラップデータ画面

ラップデータをe-Train Dataで開くと、各データを数値で表示する情報エリアとラップポイントの心拍数・速度・ケイデンスをグラフ表示するグラフエリアが表示されます。



- **情報エリア**

  情報エリア1にダウンロードした日付を表示します。情報エリア2 にはカーソル位置に最も近いラップポイントの走行時間、心拍数、速度、ケイデンス、走行距離の数値をまとめて表示します。

- **グラフエリア**

  ラップポイントの時間と同時に心拍数、走行速度、ケイデンスのデータをグラフとして表示します。

  デフォルトではラップポイントの心拍数は赤丸で、走行速度は青丸で、ケイデンスは緑丸で表示します。グラフ上ではカーソルはランプポイントに吸着されます。

⚠注意 お使いのMSCユニットにケイデンス機能が無い場合は、ケイデンスは表示されません。

⚠注意 ラップデータ画面のグラフエリアには心拍ゾーンがありません。しかしMSCユニットで設定した心拍目標ゾーンを読込むことは可能です。（22ページ　データの読込み参照）
ラップデータ画面にメモリ計測データは読込めません。

心拍目標ゾーン画面

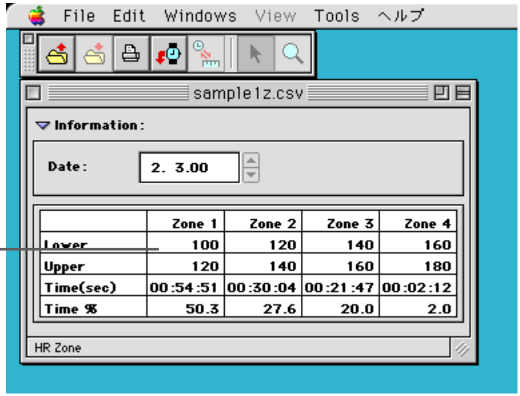
心拍目標ゾーンデータを直接e-Train Dataで開いたり、MSCユニットで設定した心拍目標ゾーンをダウンロードしたときに開きます。MSCユニットで設定した目標ゾーンと上限心拍数・下限心拍数・そのゾーンの滞留時間を数値で表示します。

情報欄に日付を入力できます。

参考 **心拍目標ゾーンと心拍ゾーン**

心拍目標ゾーンはMSCユニットで設定した心拍ゾーンのことで、ダウンロードによってe-Train Dataへ読込みます。

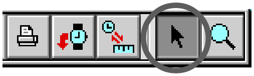
これに対し、心拍ゾーンとはe-Train Data上で設定できる心拍の範囲のことです。



心拍目標ゾーン

区間データを表示する（区間指定）

選択ツールを使って区間を指定すると、指定した範囲の区間データを情報エリア2に表示します。



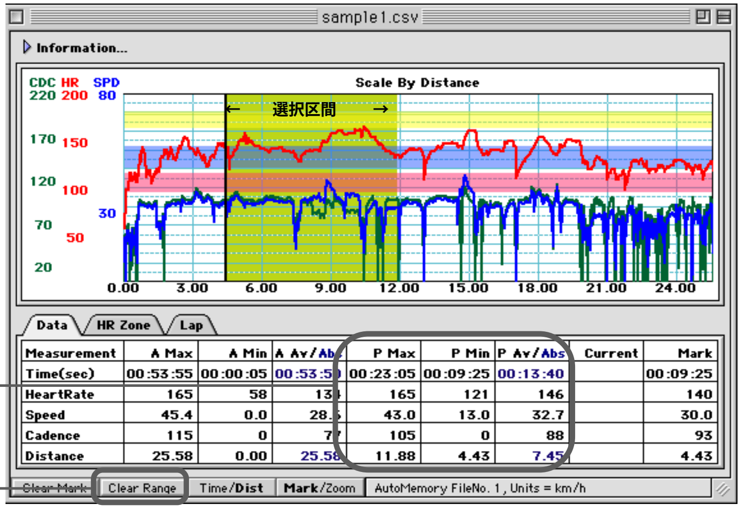
1. ツールバーの「選択ツール」ボタンをクリックします。
   クイックボタンの「Mark/Zoom」ボタンでも同様に行えます。
2. 範囲を指定します。

   グラフエリア上でドラッグして範囲を指定します。

   情報エリア2には、指定区間の最大（P Max）・最低（P Min）・平均値／絶対値（P Av/Abs）が数値で表示されます。

   改めてドラッグし直すと、選択範囲を変更できます。

   選択範囲を解除するときは、クイックボタンの「Clear Range」ボタンをクリックするか、[Edit] - [Clear Range]を選択します。

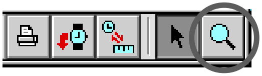


選択区間の最大値（P Max）・
選択区間の最低値（P Min）・
選択区間の平均値／絶対値
（P Av/Abs）

選択範囲の解除

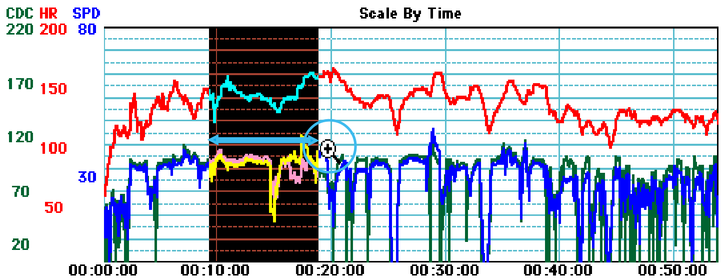
参考　A Max、A Min、A Av/Absは順番に「全区間の最大値」、「全区間の最小値」、「全区間の平均値／絶対値」を示しています。

グラフを拡大／縮小する

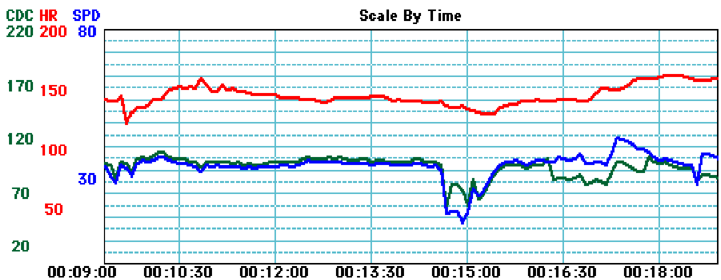


拡大ツールを使ってグラフエリアを横軸方向に拡大／縮小します。

1. ツールバーの「拡大ツール」を選択します。
   ポインタの中央に「＋」マークが表示されます。「＋」マークのときは、表示を拡大できます。「－」マークのときは、表示を縮小できます。「－」マークに切り替えるときは、Optionキーを押します。
2. 拡大／縮小したい箇所にポインタを置き、表示したいサイズになるまでクリックします。
3. 特定の範囲を拡大するには、拡大したい範囲をドラッグします。

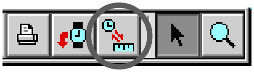


選択した範囲がグラフエリアいっぱいに横方向にのみ拡大表示されます。

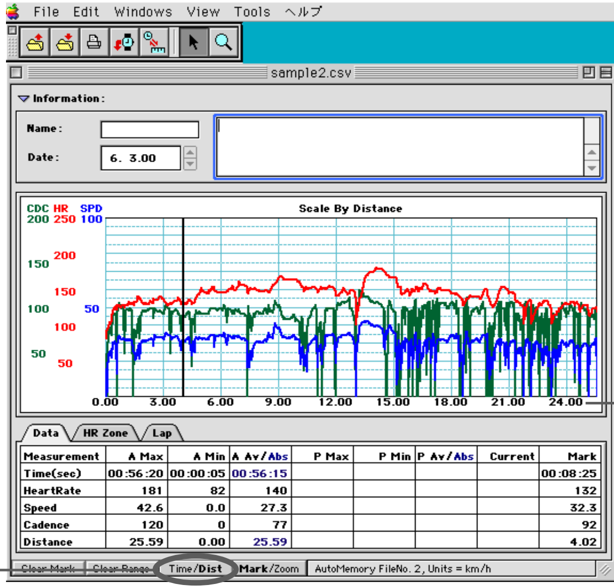


グラフの横軸を切替える

横軸目盛りボタンを使ってグラフエリアの横軸を走行時間から走行距離に切り替えられます。



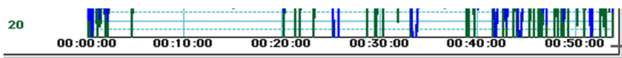
1. ツールバーの「時間・距離切替え」ボタンをクリックします。
   グラフエリアの横軸がTime（走行時間）からDistance（走行距離）に代わります。
   クイックボタンの「Time/Dist」でも同様に行えます。
   横軸が走行時間のときはグラフ上部に「Scale By Time」と表示され、横軸が走行距離のときは「Scale By Distance」と表示されます。



走行距離

クイックボタン

2. もう一度ツールバーの「時間・距離切替え」ボタン、またはクイックボタンの「Time/Dist」をクリックします。
   グラフエリアの横軸がDistance（走行距離）からTime（走行時間）に戻ります。



走行時間

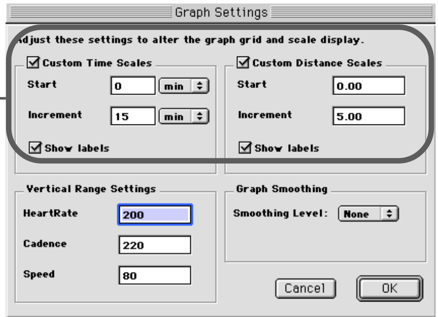
横軸目盛りの設定

横軸目盛りの間隔や表示・非表示を自由に変更できます。



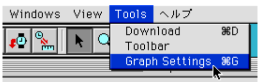
1. メニューバーの[Tools]-[Graph Settings]を選択します。
2. 「Custom Time Scales」または「Custom Distance Scales」にチェックを入れ、表示間隔、表示開始位置の数値を入力します。Custom Time Scales（時間目盛りのカスタマイズ）・Custom Distance Scales（距離目盛りのカスタマイズ）のチェックを外すとデフォルトの目盛りになります。
3. 目盛りを非表示にしたい場合は「Show labels」のチェックを外します。
4. 「OK」ボタンをクリックします。

Custom Time Scales（時間目盛りのカスタマイズ）
Custom Distance Scales（距離目盛りのカスタマイズ）
Start（開始点）
Increment（間隔）
Show labels（目盛りの表示）

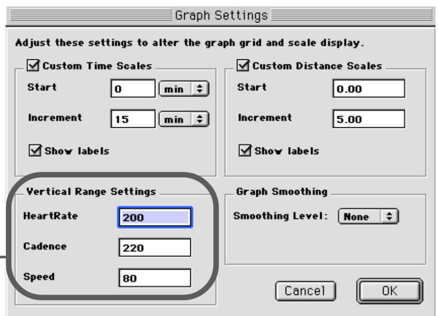


縦軸目盛りの設定

縦軸目盛りの上限を自由に変更できます。



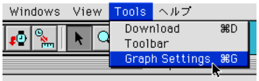
1. メニューバーの[Tools]-[Graph Settings]を選択します。
2. 「Vartical Range Settings」のダイアログが表示されますので、心拍数、ケイデンス、走行速度のグラフの最大値を入力します。
3. 「OK」ボタンをクリックします。

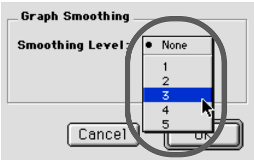


Vertical Range Settings（縦軸の設定）
Heart Rate（心拍数）
Cadence（ケイデンス）
Speed（走行速度）

グラフを滑らかにする

計測時間が長い場合、グラフエリアの凹凸が細かく見にくいことがあります。グラフスムージングを使ってグラフを滑らかにし、見やすく表示できます。滑らかさは5段階から選択できます。

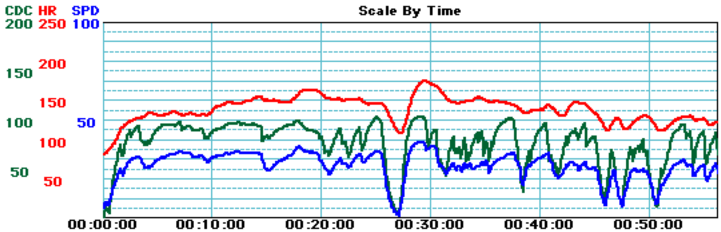




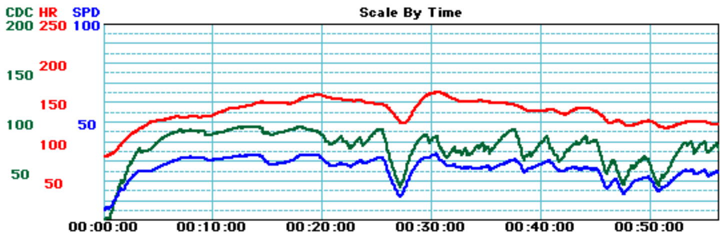
1. メニューバーの[Tools]-[Graph Settings]を選択します。

   ダイアログ内の[Graph Smoothing]よりスムージングレベルを選択します。レベルは高いほどより滑らかになります。

スムージングレベル3



スムージングレベル5



2. グラフを元の状態に戻すときは、スムージングレベルを「None」にします。

データの読込み

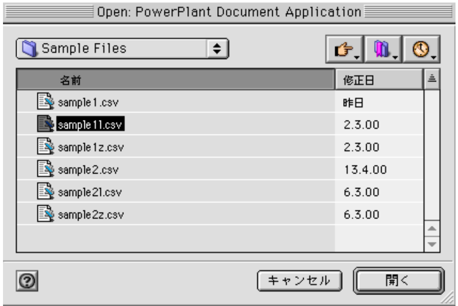
メモリ計測データのグラフ上にラップデータやMSCユニットで設定した心拍目標ゾーンデータを読込むことができます。同一グラフに重ねて表示することで、データの分析に役立ちます。

メモリ計測データにラップデータを読込む

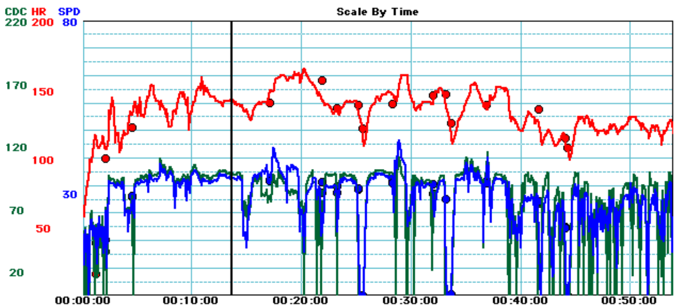


1. メモリ計測データを開いた状態で、メニューバーの [File] - [Overlay]を選択します。

   ダイアログボックスが表示されます。



2. ダイアログボックス内のサンプルファイル「sample1l.csv 」を選択し、「開く」ボタンをクリックします。



   グラフエリアにラップデータが表示されます。ラップポイントは○で表示されます。

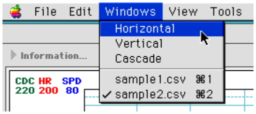
参考

- 同様の手順でMSCユニットで設定した心拍目標ゾーンデータ「sample1z.csv 」をグラフ上に読込むことができます。
- 心拍目標ゾーンデータを読込むと、それまで表示している心拍ゾーンは読込んだものに置き換えられます。
- 読込んだ心拍目標ゾーンはHR Zoneタグで変更できます。
- 心拍目標ゾーンデータはメモリ計測画面だけでなく、ラップデータ画面にも読込むことができます。

複数のファイルを並べて表示する

複数のファイルを開いているとき、それらのファイルを画面上に並べて表示し、データを比較することができます。

［Horizontal（横長に表示して並べる）］［Vertical（縦長に表示して並べる）］［Cascade（重ねて表示する）］の中から選択できます。

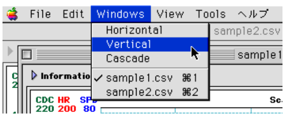


Horizontal
（横長に表示して並べる）

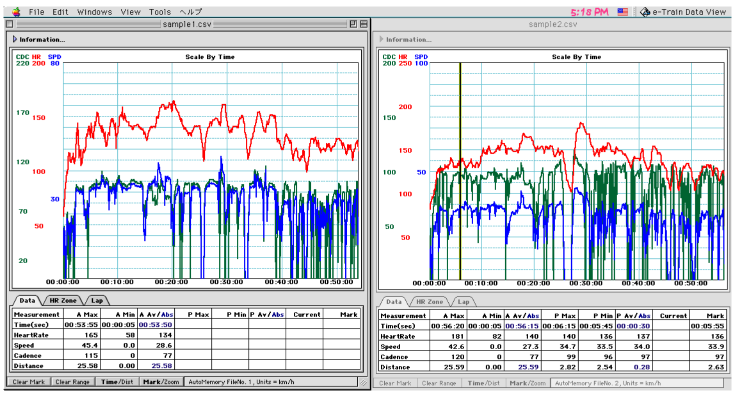
1. メニューバーの［Windows］の中の［Horizontal（横長に表示して並べる）］［Vertical（縦長に表示して並べる）］［Cascade（重ねて表示する）］の中から好みの並べ方を選択します。

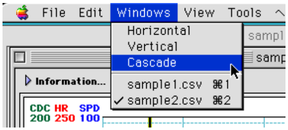
 開いているファイル全てが並んで表示します。



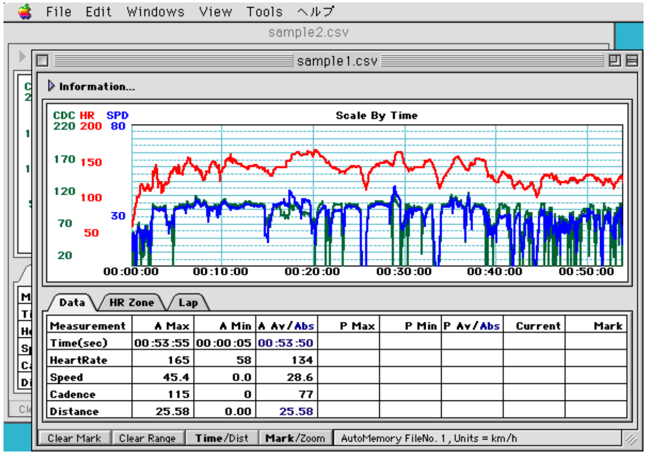


Vertical
（縦長に表示して並べる）





Cascade
（重ねて表示する）

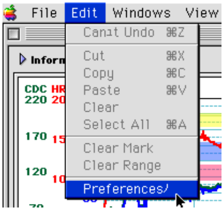


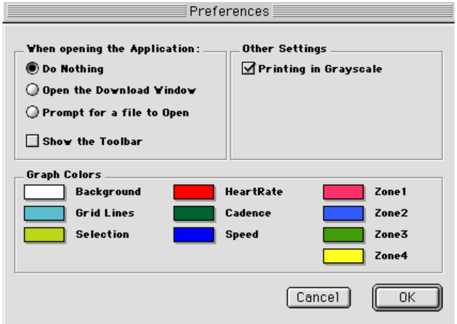
参考　並んだファイルのうちカーソルでクリックしたファイルが前面に移動します。

ファイルは個別に閉じることができます。この場合、閉じたファイルの位置は空いたままになりますが、再度メニューバーの［Windows］から並べ方を選択すると、並べ直します。

環境設定

ソフト起動時の設定、カラー／モノクロプリントの設定、各折れ線グラフ、心拍ゾーン、選択範囲、拡大範囲等のカラーを自在に変更することができます。
メニューバーの[Edit]-[Preferences]を選択すると、次のダイアログボックスが表示されます。







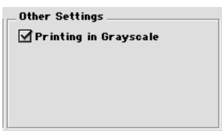
ソフト起動時の設定（When opening the Application）

e-Train Dataの起動時に、どのような状態で起動させるかを以下の3つの項目から1つだけ選択できます。

- Do Nothing（ソフトが起動するだけで何もファイルを開きません）
- Open the Download Window（ダウンロードダイアログボックスを表示）
- Prompt for a file to Open（「ファイルを開く」時のダイアログボックスを表示）

上記の3つと関係なく、ツールバーの表示／非表示を選択できます。表示させる場合はチェックを入れ、表示させない場合はチェックを外してください。

Show the Toolbar（ツールバーの表示）



その他の設定（Other Settings）

プリント時にモノクロでプリントするか、カラーでプリントするかを設定します。
モノクロでプリントする場合はチェックを入れ、カラーでプリントする場合はチェックを外してください。

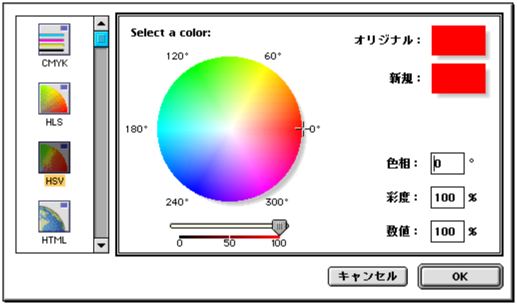
カラーの設定（Graph Colors）

折れ線グラフ、心拍ゾーン、選択範囲、拡大範囲等のカラーは自在に変更することができます。

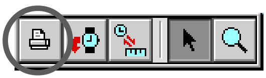
Background（背景）
Grid Lines（グリッド線）
Selection（選択範囲）
Heart Rate（心拍数）
Cadence（ケイデンス）
Speed（走行速度）
Zone1〜4（心拍ゾーン1〜4）



変更したい項目のカラーをクリックすると、カラーピッカーウィンドウが表示されます。
ご希望の色を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



プリント

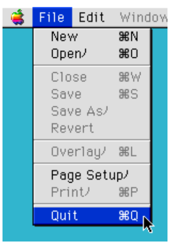


e-Train Dataのデータを印刷します。

1. 25ページに従って、環境設定でモノクロプリントかカラープリントかを選択します。
2. ツールバーの「印刷」ボタンをクリックします。
   印刷のダイアログボックスが表れます。
   各種設定を確認後、「プリント」ボタンをクリックすると、表示しているデータがプリントアウトされます。
   メニューバーの[File]-[Print]を選択しても同様に行えます。

参考　数値情報とグラフは画面に表示している内容でプリントアウトされます。

e-Train Dataの終了



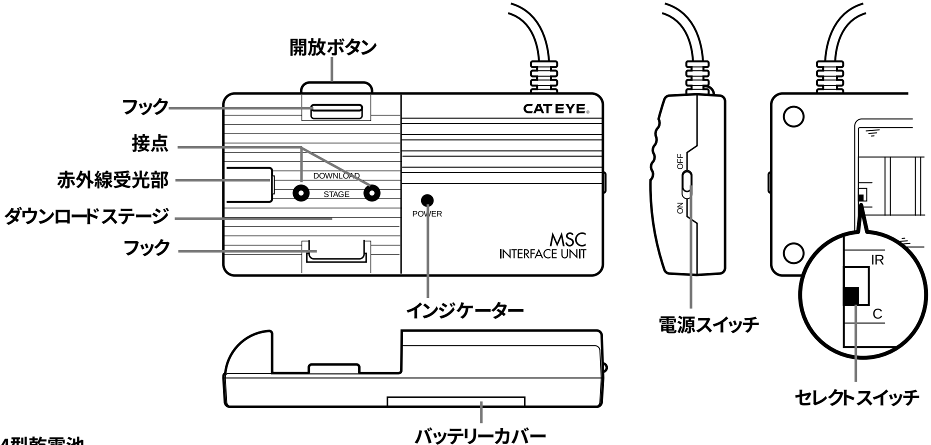
e-Train Dataを終了します。

1. メニューバーの中の[File]-[Quit]を選択します。
   e-Train Dataが終了します。

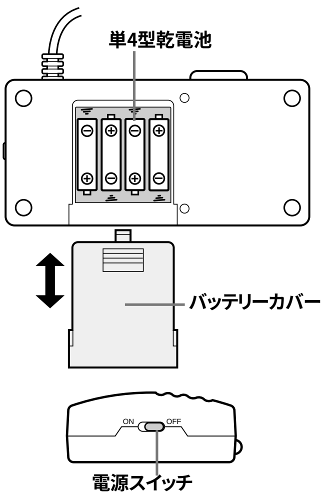
インターフェイスユニットの準備

MSCユニットに蓄えた計測データはインターフェイスユニットを使ってMacintoshへダウンロードします。まず、インターフェイスユニットとMacintoshの接続、MSCユニットの装着方法を説明します。

インタフェイスユニット各部の名称



電池の装着



⚠注意

新旧あるいは異種の電池を混ぜて使用しないでください。
使用済みの電池は幼児の手の届かない所に置き、正しく処理してください。

1. 使用するMSCモデルに合わせ転送ポートを選択します。
   バッテリカバーをスライドして開け、セレクトスイッチを切替えます。
   接点によって転送するモデル（MSC-2Dxと3Dx）の場合はセレクトスイッチをC側にします。
   （出荷時はC側にセットされています。）
   赤外線転送するモデルの場合はセレクトスイッチをIR側へ切替えます。
2. 電池を装着します。
   図のように単4型乾電池4本の＋－を間違えないように正しく装着してください。
3. 電源スイッチがOFFであることを確認します。
   電源スイッチをONにするとインジケータが点灯します。点灯しないときは電池が正しく入っているか確認してください。

⚠注意

データを転送していなくても、電源スイッチがONになっていると電力を消費し、電池の寿命が短くなります。使用しないときはスイッチをOFFにしてください。

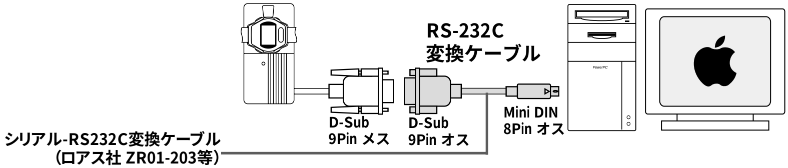
参考

電池の寿命はアルカリ電池の場合で約50時間です。電源スイッチをONにしてもインジケータが点灯しないときは電池を交換してください。

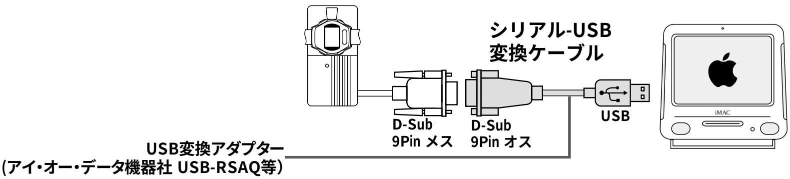
Macintoshとの接続

インターフェイスユニットをMacintoshに接続するには、変換アダプターが別途必要です。下図を参照し、適切なアダプターを使って接続してください。

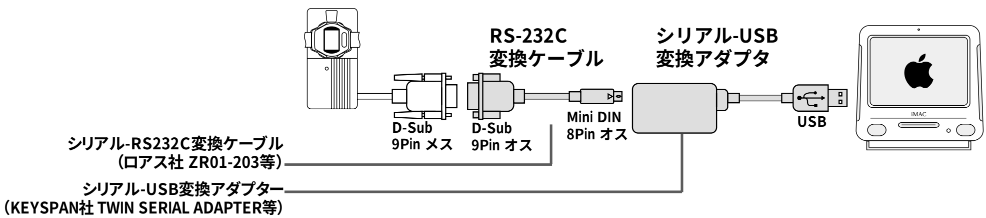
シリアル（プリンタ・モデム）ポートのある全てのPower Mac



Mac OS8.6以降でUSBポートのある全てのMac
（青白G3, G4, PowerBook, iMac, iBook）

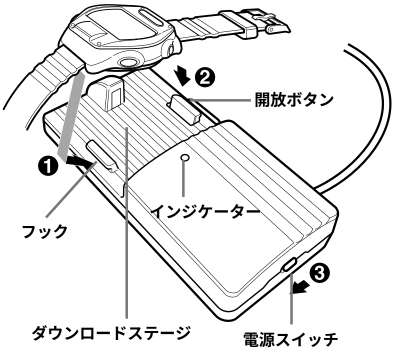


Mac OS8.5以降でUSBポートのMac（一部の青白G3, PowerBook, iMac）



⚠注意

接続はしっかり行ってください。接続が不確実な場合、データ転送がうまくできないことがあります。



MSCユニットの装着

⚠注意

MSCユニットとインターフェイスユニットの接点の接続が不安定な場合、ダウンロードを失敗する場合があります。確実に固定してください。

❶ MSCユニットの後方をフックにひっかけます。

❷ 前方を押し込みます。カチッと音がしてMSCユニットが固定されます。

⚠注意

MSCユニットの前後を間違えないでください。データ転送ができないだけでなく、故障の原因となる場合があります。

❸ インターフェイスユニットの電源スイッチを入れ、インジケータの点灯を確認します。

以上でインターフェイスユニット側の準備は完了です。

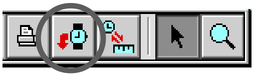
外し方

ダウンロード終了後は電源スイッチを切り、解放ボタンを押すとMSCユニットがポップアップしロックが解除されます。

データのダウンロード

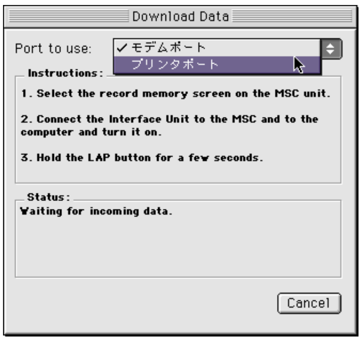
MacintoshにMSCユニットのデータをダウンロードします。
27ページ「インターフェイスユニットの準備」に従いインターフェイスユニットをMacintoshに接続し、電源を入れます。
Macintoshにインターフェイスユニットが接続されている場合、e-Train Data使用途中でもダウンロードは可能です。
インターフェイスユニットにMSCユニットを装着して準備を整えます。

1. Macintoshを起動します。
2. e-Train Dadaを起動します。

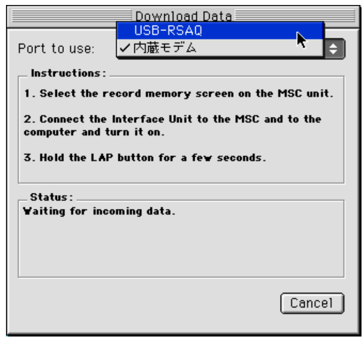


3. ツールバーの「ダウンロード」ボタンをクリックします。メニューバーの［Tools］-［Download］を選択しても同様に行えます。ダウンロードダイアログが表示されます。
4. インターフェイスユニットを接続したポートを選択します。

シリアルポートの場合



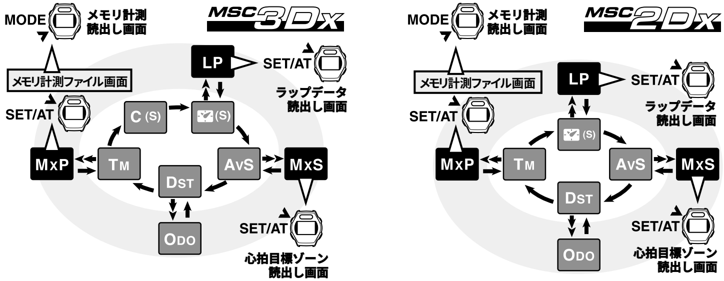
USBポートの場合



5. ダウンロードしたいデータをMSCユニットに表示させます。

メモリ計測、ラップ、心拍目標ゾーンの各機能がダウンロードできます。

MSCユニットのMODEボタン・SET/ATボタンを操作してダウンロードする機能の読出し画面をMSCユニットに表示させます。

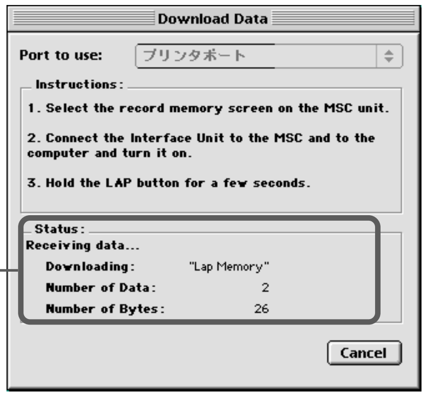


6. MSCユニットのLAPボタンを2秒間押し続けます。

MSCユニットがダウンロードを始め、Macintoshへデータが転送されます。

ダウンロード中はデータの数値が早送りで表示されます。

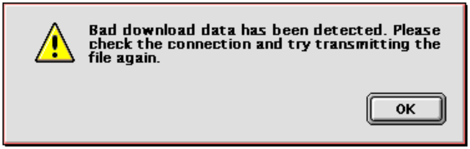




Status（状況）
Receiving data...（データ受信中）
Downloading（ダウンロードデータ）
Number of Data（データ数）
Number of Bytes（データ量）

ダウンロードが正しく行われると、ダウンロードしたデータが自動的に開きます。

参考　ダウンロード中にエラーが起きるとアラートが表示されます。



⚠注意

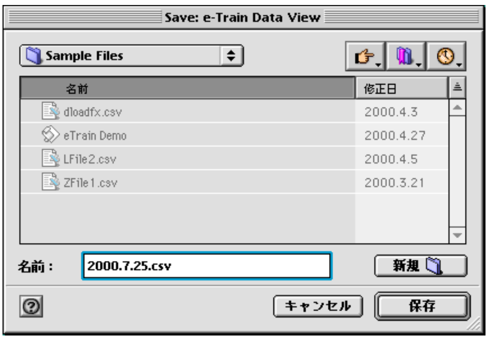
ダウンロードが正しく行われない場合、その原因としてMSCユニットとインターフェイスユニットの接点の接続が不安定なことが考えられます。MSCユニットが確実にインターフェイスユニットに固定されているか確認してください。

このような症状が頻発するときはMSCユニットを押さえながらダウンロードを試してください。

7. データを保存します。

保存先を指定しファイル名を付けて保存します。

ファイル名はラップまたは心拍目標ゾーンデータであることが判断できるような名前を付けると便利です。



参考　続けてダウンロードするときは4.～6.の操作を繰り返します。

8. ダウンロードを終了します。

インターフェイスユニットの電源スイッチをOFFにし、MSCユニットを外します。

クイックリファレンス

File (ファイル)	New(新規)	command +N	新規ファイルを開きます。
	Open...(開く)	command +O	保存されているファイルを開きます。
	Close(閉じる)	command +W	選択したファイルを閉じる。
	Save(保存)	command +S	ファイルを保存します。
	Save As...(別名で保存)		ファイルを別名で保存します。
	Revert(復帰)		復帰します。
	Overlay...(読込み)	command +L	ラップデータや心拍目標ゾーンデータを読み込みます。
	Page Setup...(用紙設定)		用紙設定をします。
	Print...(プリント)	command +P	印刷します。
	Quit(終了)	command +Q	e-Train Dataを終了します。
Edit (編集)	Undo...(....の取り消し)	command +Z	1つ前の動作を取り消します。
	Cut(カット)	command +X	選択部分をカットします。
	Copy(コピー)	command +C	選択部分をコピーします。
	Paste(ペースト)	command +V	カットまたはコピーした部分を貼り付けます。
	Clear(消去)		選択部分を消去します。
	Select All(全選択)	command +A	全てを選択します。
	Clear Mark(マーククリア)		マークラインを消去します。
	Clear Range(範囲クリア)		選択範囲を消去します。
	Preference(環境設定)		e-Train Data起動時の設定、印刷時のカラー設定、グラフのカラー設定をします。
Windows (ウインドウ)	Horizontal(ホリゾンタル)		複数のファイルを横長に表示して並べます。
	Vertical(バーチカル)		複数のファイルを縦長に表示して並べます。
	Cascade(カスケード)		複数のファイルを重ねて表示します。
View (表示)	All(全表示)		全てを表示します。
	None(全てを隠す)		全てを非表示します。
Tools (ツール)	Download(ダウンロード)	command +D	ダウンロードダイアログが表示され、MSCユニットからデータ転送ができます。
	Toolbar(ツールバー)		ツールバーを表示します。
	Graph Settings(グラフ設定)	command +G	グラフの横軸目盛り・縦軸目盛り・スムージングの設定ができます。

トラブルと処理

故障かなと思う前に次の点を確認してください。

MSCユニットのデータがダウンロードできない。

インターフェイスユニットは正しくMacintoshに接続されていますか?

28ページを参照し、もう一度ハード上の接続を確かめてください。

スイッチをオンにしたときインターフェイスユニットのインジケーターは点灯しますか?

点灯しない時は電池寿命あるいは電池が正しくセットされていません。交換またはセットし直してください。

インターフェイスユニットのセレクトスイッチの位置は正しいですか?

2Dx, 3Dxの場合はセレクトスイッチをC側にしてください。

MSCユニットが正しくインターフェイスユニットにセットされていますか?

29ページを参照し、正しくセットされているか確認してください。

e-Train Dataの「通信ポート」は正しく設定されていますか?

メニューバーの[Tools]-[Download]で通信ポートを正しく選択してください。

MSCユニットはダウンロードしたい機能の読出し画面になっていますか?

MSCユニットは読出し画面でLAPボタンを長押しするとダウンロードが始まります。ダウンロード開始と同時にMSCユニット画面上でデータが早送りされるかを確認します。

MSCユニットの画面上でデータが早送りしないときは30ページまたはMSCユニットのユーザーマニュアルを参照し、MSCユニット側の準備を整えてください。

MSCユニットやインターフェイスユニットの接点が汚れていませんか?

接点を掃除してください。

ダウンロードは始まるが途中でエラーが出る。またはダウンロードが終了しない。

MSCユニットやインターフェイスユニットの接点が汚れていませんか?

接点を掃除してください。

MSCユニットとインターフェイスユニットの接点のかみ合わせがルーズな場合が考えられます。

インターフェイスユニットに装着したMSCユニットを押さえながら試してみてください。

グラフエリアの横軸目盛りが表示されない。

メニューバーの[Tools]-[Graph Settings]を選択し、「Show labels」にチェックを入れてください。

プリントアウトがモノクロでしか出力されない。

メニューバーの[Edit]-[Preferences]を選択し、「Printing in Grayscale」にチェックを外してください。

縦方向で折れ線グラフが枠からはみ出る。

グラフ上限値が低いためです。

20ページ縦軸目盛りの設定に従い、はみ出している項目のグラフ上限値を大きくしてください。

お願い

ダウンロードソフトおよびインターフェイスユニットについてのご質問等は、EメールまたはFAXでお願い致します。お電話によるご質問にはお答えできかねる場合がありますのでご了承ください。
e-Train Dataのバージョンアップ等についての情報はインターネット上のCAT EYEホームページをご覧ください。

CAT EYEホームページ　　http://www.cateye.co.jp

著作権